

言葉かけのバリエーション

保護者の皆様と話をしていると「こんな時、子どもにどんな言葉かけをしたらいいのか分からなくて…」
「何度も〇〇してね（しないでね）と言っているんですけど、なかなか直らなくて…」
という声を耳にすることがあります。

私達職員は、子ども達と関わりながら日々たくさんの言葉を使っています。
大人相手だったら伝わることも、子どもの場合、年齢やその時の様子に応じて分かりやすい言葉に変えないと理解してもらえません。

子どもが自分で考えられるように問いかけてみたり、どんな言葉を使ったら自分の伝えたいことが目の前の子どもに伝わるか、考えながら保育をしています。

例えば「室内や廊下など、園内を歩いて欲しい」というシチュエーションでも、さまざまな言葉かけの種類があります。

👏 とにかく褒める！（お部屋の中を歩いている時）

「わ！お部屋の中だから静かに歩いてるんだ。すごいね！」

👏 真剣に理由をしっかりと伝える（お部屋の中を走っている時）

「お部屋の中を走ったら、色々な物やお友達とぶつかって、お互いに怪我をしてしまうよね。
だから、お部屋は歩こうね。」

👏 その気になるように励ましてみる（お部屋の中を走っている時）

😊 「あれ？そんなに急いでどうしたの？」

😊 …大人

😊 …子ども

😊 「早く遊びたくて…」

😊 「そうだったんだ。でもお部屋の中を走ったら危ないよね。小さいお友達もいるから真似を
しまうよね。かっこいい姿見せて欲しいな～！」

👏 自分で考えられるように問いかけてみる（お部屋の中を走っている時）

「あれ？お部屋の中はどうするんだっけ？」

年齢の小さい子どもには、まずは大人がお手本となってやり方を見せて、出来た時には「すごいね！」
「できたね！」と、正しく出来たことを認めて下さいね！

一つの事柄についても、このようにさまざまな角度から伝えることができます。

子どもへの声かけに「こんな時には、こんな言葉かけをしましょう！」という決まった答えはありません。
また、これだけが全ての方法ではないので、その場面、その子に合った言い方をしたり、子どもに寄り添い
ながら、時には大人の真剣な思いを厳しく伝えていくことも必要です。

そして、大人の言葉かけに応じて行動が変わった時には「褒める」ということが大切です。

「わ！すごいね！」「さすがだね」と認めることで、前向きな心構えに変わります。

これからも、「こんな時の声掛けに悩んでいて…」ということがあれば、いつでもお声掛け下さいね。

「こんな時の言葉かけのバリエーションは？」というクエスチョンを、ぜひ一緒に考えさせて下さい。

その他にも「こんな伝え方をしたら上手くいった！」など、新しい言葉かけの種類があったら、共有して
いただけると嬉しいです♪